

044 十二使徒の選抜

(十二人を選ぶ、マタイによる福音書 10 : 1~4、マルコによる福音書 3 : 13~19)

ルカによる福音書 6 : 12~16

12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。

13 朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。

→目的：宣教（伝道）拡大

弟子：師から学ぶ者で権威の付与はまだない。

使徒：遣わされた者で権威が付与されている。

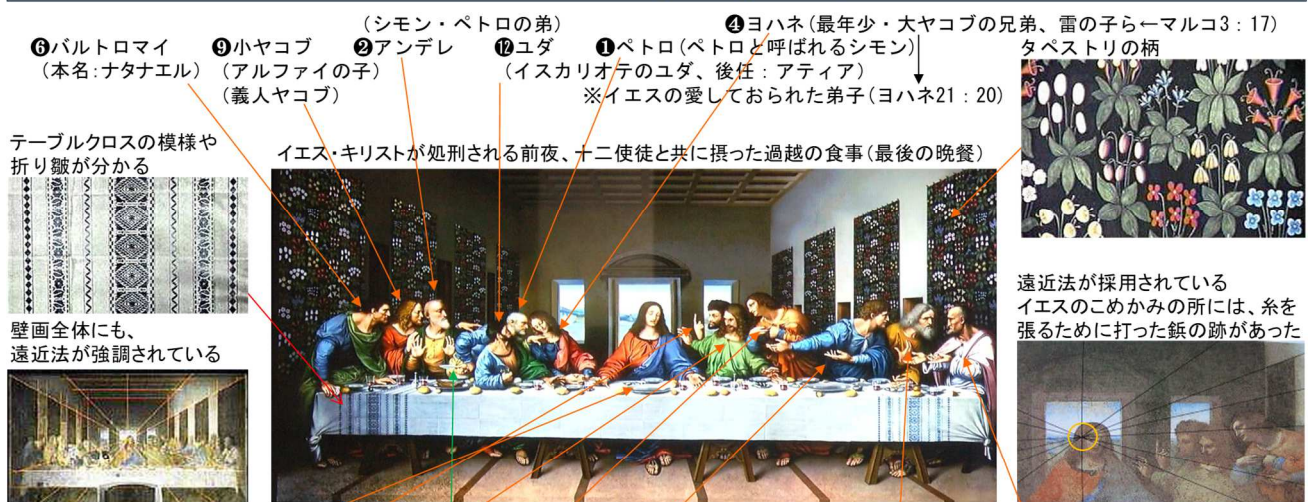
14 それは、イエスが**①ペトロ**と名付けられた**シモン**、**②その兄弟アンデレ**（→シモン・ペトロの弟）、そして、**③ヤコブ**（→大ヤコブ、雷の子ら←マルコによる福音書 3 : 17、ゼベダイの子ヤコブ←マタイによる福音書 10 : 2、マルコによる福音書 3 : 17）、（そして、ヤコブの弟）**④ヨハネ**（→最年少、大ヤコブの弟、雷の子ら←マルコによる福音書 3 : 17）、**⑤フィリポ**、**⑥バルトロマイ**（本名：ナタナエル←ヨハネによる福音書 1 : 45~49、21 : 2）、

15（徴税人の）**⑦マタイ**（レビという徴税人←ルカによる福音書 5 : 27、取税人：新共同訳では使わない）、**⑧トマス**（→あだ名：ディディモ=双子←ヨハネによる福音書 11 : 16、20 : 24、21 : 2）、**⑨アルファイの子ヤコブ**（→小ヤコブ、義人ヤコブ）、（反体制グループである）熱心党と呼ばれた**⑩シモン**、

16**⑪ヤコブの子ユダ**（=アルファイの子ヤコブとタダイ←マタイによる福音書 10 : 3、マルコによる福音書 3 : 18）、それに後に（イエスの）裏切り者となった**⑫イスカリオテのユダ**（→後任：アティア）である。

→兄弟：①と②、③と④、⑨と⑩

Leonardo da Vinci The Last Supper 「最後の晩餐 L'Ultima Cena」



③トマス ④大ヤコブ ⑤フィリポ ⑦マタイ (レビという徴税人) ⑧タダイ (ユダ) ⑩シモン (熱心党のシモン)
(ゼベダイの子ヤコブ、使徒ヨハネの兄弟、雷の子ら←マルコ3:17)

※パンは「過越祭」で使う「種無しパン」とは違い、イーストの入った、膨らんだパンである。
※メインディッシュは、魚料理である。



※ペトロが腰に短剣を持っている。

- ▶ヨハネによる福音書13:21より、十二使徒(弟子)の中の一人ユダが私を裏切る、とキリストが予言した時の情景である。
- ▶「最後の晩餐」はミラノにあるサンタ・マリア・デルレ・グラツィエ修道院の食堂の壁画(420 x 910 cm)として描かれた(1495年~1498年)。
- ▶依頼主：ルドヴィーコ・スフォルツァ公(レオナルド・ダ・ヴィンチのパトロン)
- ▶上記画像の一部は、NHKが作成したCGを参考にしている。

▶ペトロ

< 1 >ペトロの他の呼ばれ方：シモン・バルヨナ、ヨハネの子シモン（→洗礼者ヨハネの弟子シモン）

タイトル(書名)	章:節 聖句	〔検索対象総数：1 / 聖句等の総数 33250 (シモン・バルヨナ)1個〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：シモン・バルヨナ〕
S マタイによる福音書	16:17	すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。」
タイトル(書名)	章:節 聖句	〔検索対象総数：4 / 聖句等の総数 33250 (ヨハネの子シモン)4個〕 聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 〔検索語彙：ヨハネの子シモン〕
S ヨハネによる福音書	1:42	そして、シモンをイエスのところに連れて行った。イエスは彼を見つめて、「あなたはヨハネの子シモンであるが、ケファ——『岩』という意味——と呼ぶことにする」と言われた。
S ヨハネによる福音書	21:15	食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの小羊を飼いなさい」と言われた。
S ヨハネによる福音書	21:16	二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの羊の世話をしなさい」と言われた。
S ヨハネによる福音書	21:17	三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

< 2 >ペトロはベトサイダ出身で、職業は漁師だった。

→マタイによる福音書 4：18

イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。

→ヨハネによる福音書 1：44

フィリポは、アンデレとペトロの町、ベトサイダの出身であった。

< 3 >ペトロには妻（家族）があった。

→マタイによる福音書 8：14

イエスはペトロの家に行き、そのしゅうとめが熱を出して寝込んでいるのを御覧になった。

姑（しゅうとめ）：配偶者の母親

舅（しゅうと）：夫または妻の父、姑（しゅうと）：夫または妻の母

< 4 >洗礼者（バプテスマ）のヨハネの弟子であった。

→ヨハネによる福音書（参照：< 1 >）に「ヨハネの子シモン」（→洗礼者ヨハネの弟子シモン）という記述がある。

< 5 >弟のアンデレがペテロをイエスに紹介した。

→ヨハネによる福音書 1：42（参照：< 1 >）

→この時、ペトロはイエスから「ケファ」という名が与えられ、漁師をしながら、イエスの弟子（≡兼業、正式の弟子ではない非常勤の弟子）となった。

< 5 >数々のイエスの活動を目撃した。

023 最初の奇跡（カナでの婚礼、ヨハネによる福音書2：1～11）

024 最初の宮清め（ヨハネによる福音書2：12～22）

025 ニコデモとの対話（ヨハネによる福音書2：23～25、3：1～21）

026 イエスと洗礼者(バプテスマ)のヨハネ(ヨハネによる福音書3：22～4：4)

027 サマリアの女との対話（ヨハネによる福音書4：4～26）

028 サマリアの女との対話Ⅱ（ヨハネによる福音書4：27～42）

029 ガリラヤ伝道

030 役人の息子をいやす（ヨハネによる福音書4：46～54）

031 ナザレで受け入れられない（ルカによる福音書4：16～30）

031 ナザレで受け入れられない（ルカによる福音書4：16～30）：ユダヤの暦と祝祭日の一覧

032 ガリラヤで伝道を始める（マタイ4：13～16、マルコ1：21～28、ルカ4：31～37）

033 ペトロの姑の癒し（多くの病人をいやす）ルカ4：38～41他

034 漁師を弟子にする（弟子たちの召命）

035 重い皮膚病（規定の病）を患っている人（レプラ患者）をいやす

036 罪を赦すことで見せた権威

037 マタイの召命

038 断食についての問答

039 ベトサダの池で病人をいやす

040 ベトサダの池で病人をいやす(2)

041 安息日に麦の穂を摘む

042 手の萎えた人をいやす

043 ガリラヤ湖畔での群衆の癒し（湖の岸辺の群衆・神が選んだ僕）

④上記 023～043 は「メシアの生涯」（フォルダー）のファイル番号である。

▶イエス、十二使徒を選ぶ

ルカによる福音書 6：12、13

12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈って夜を明かされた。

13 朝になると弟子たちを呼び集め、その中から十二人を選んで使徒と名付けられた。

→イエスは徹夜で祈り、多くの弟子の中から 12 人を選んだ。この 12 人の弟子たちは、常にイエスのそばにいて、イエスに仕えることになる。そして、イエスがメシアであること、そして神の国（天の国）を宣言、伝えるために派遣されることになる。併せて、宣言の信憑性を証明するために、悪霊を追い出す権威が与えられた。

ペトロは、最初に弟子として選ばれ、使徒たちの指導者としての役割を与えられた。

→聖書にある「ペトロ」に関する記事（新約聖書には「ペトロ」に関する聖句が 185 か所に登場する）

- ・マタイによる福音書、マルコによる福音書、ルカによる福音書：①ペトロ、信仰を言い表す、②イエス、ペトロの離反を予告する、③ペトロ、イエスを知らないと言う
- ・ヨハネによる福音書：②③、④ペトロ、重ねてイエスを知らないと言う、⑤イエスとペトロ
- ・使徒言行録：①ペトロの説教、②足の不自由な男をいやす、③神殿で説教する、④ペトロとヨハネ、議会で取り調べを受ける、⑤アイネアをいやす、⑥タビタを生き返らせる、⑦ヤッファで幻を見る、⑧コルネリウスの家で福音を告げる、⑨エルサレムの教会に報告する、⑩ヤコブの殺害とペトロの投獄、⑪牢から救い出される
- ・ガラテヤの信徒への手紙：ウロ、ペトロを非難する

【参考】ペトロの手紙— 1:3～9(生き生きとした希望)

わたしたちの主イエス・キリストの父である神が、ほめたたえられますように。神は豊かな憐れみにより、わたしたちを新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生き生きとした希望を与え、また、あなたがたのために天に蓄えられている、朽ちず、汚れず、しぼまない財産を受け継ぐ者としてくださいました。あなたがたは、終わりの時に現されるように準備されている救いを受けるために、神の力により、信仰によって守られています。それゆえ、あなたがたは、心から喜んでいるのです。今しばらくの間、いろいろな試練に悩まねばならないかもしれませんが、あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊くて、イエス・キリストが現れるときには、称賛と光栄と誉れとをもたらすのです。あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛し、今見なくても信じており、言葉では言い尽くせないすばらしい喜びに満ちあふれています。それは、あなたがたが信仰の実りとして魂の救いを受けているからです。